

# 第 72 回 宮崎県保育事業研究大会開催要綱

## ● 大 会 主 題 ●

「すべての子どもの権利と育ちを  
保障していく社会の実現」をめざして

### 1. 趣 旨

2024 年の出生数が 68 万 6061 人と公表され 70 万人を割り込みました。想定をはるかに超える少子化による入園児の急激な減少や保育人材の確保難に加え、国が公表した「保育政策の新たな方向性」では、これまでの「待機児童対策を中心とした量の拡大」から「質の高い保育の確保・充実」「全てのこどもの育ちと子育て家庭の支援」等に政策の方向が転換されるなど、いま、保育は大きな転換期を迎えています。

そうした状況のなか、わたしたち教育・保育関係者は、自園が置かれている環境に適切に対応するとともに、すべての子どもの「最善の利益」を保障すべく、保育の質の向上を常に意識しなければなりません。そして、保育所・認定こども園等が子ども・子育て支援に欠かすことのできない社会資源として、社会や地域の人々からさらなる信頼と支持を得る必要があります。

宮崎県保育連盟連合会では、保護者や地域の福祉ニーズとともに、すべて子どもにとっての「最善の利益」を尊重し、保育内容の研究を深め、「養護と教育の実践」の更なる向上を目指すことを目的として本大会を開催いたします。

2. 主 催 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会

3. 後 援 宮崎県・宮崎市・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会（予定）

4. 期 日 令和 8 年 3 月 2 日（月）

5. 会 場 シーガイアコンベンションセンター

宮崎市山崎町浜山（TEL：0985-21-1164）

## 6. 費 用

(1) 次の費用は参加者の負担といたします。

参加費（資料代）：会 員 施 設 ・ 3,000 円、非会員施設 ・ 5,000 円

養成校職員 ・ 2,000 円、 学 生 ・ 1,000 円

昼食代（お弁当・お茶付）：1,100 円

※ 式典・記念講演のみ参加の場合でも参加費は同金額です。

(2) 意見発表者・助言者については参加費及び昼食代は免除します。なお、被表彰者及びその他の役員・係員については、参加費及び昼食代が必要となりますのでご注意ください。

## 7. 日程及び大会内容

(1) 日 程

	9	10	30	11	12	13	14	15	16
3/2 ( 月 )		受 付	式 典	記念講演	昼 食		分 科 会		

(2) 日程及び内容

9 : 00 ～ 10 : 00 受 付

10 : 00 ～ 10 : 30 式 典

10 : 30 ～ 12 : 00 記念講演

演 題 : 「 デジタル社会の落とし穴 」 ～幼児期に大切にしたいこと～

講 師 : 糸数 智美 氏 ( どんぐりこども診療所 院長 )

✿ プロフィール ✿

日本小児科学会小児科専門医

日本小児科医会乳幼児学校保健委員・心の相談医

宮崎県小児科医会副会長、子どもとメディアみやざき代表

宮崎県メディア安全指導員、NPO 法人チャイルドラインみやざき顧問

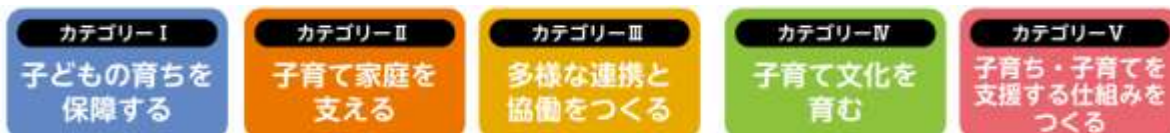
12 : 00 ～ 13 : 00 昼 食

13 : 00 ～ 16 : 00 分 科 会

## 8. 分科会テーマ及び研究課題

全国共通研究テーマとして、「全国保育協議会の将来ビジョン」に基づく 5 つのカテゴリーと 5 つのテーマが設定されています。本大会では全国共通研究テーマに沿った 3 つの分科会（九州・全国大会 第 2 ・第 3 ・第 5 分科会）と 2 つの特別分科会の計 5 つの分科会を開催します。その中の、第 3 分科会は九州大会へ進みます。

「全保協 将来ビジョン」に基づく 5つのカテゴリー



※各分科会のテーマは、上記いずれかのカテゴリーに属しています

## ◆ 分科会の進め方について

座長を中心に分科会のスタイルに合わせたタイムスケジュールにて開催いたします。

### 第 1 分科会（九州・全国大会では第 2 分科会）

#### 〈テーマ〉子育て支援・多機能化



#### ～地域と連携した子育て、地域のニーズに応える施設づくり～

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。

令和 6 年度からは、地域子育て相談機関の設置が市町村の努力義務とされ、その役割が保育所・認定こども園に期待されています。地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者のもつ知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、多機能化等による地域のこども・子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

■ 担 当 部 ： 保育士部

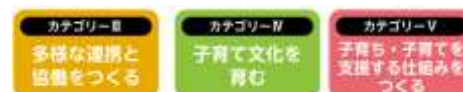
■ 意見発表者 ： 県西地区

■ // 宮崎市地区

■ 助 言 者 ： 久松 尚美 氏（宮崎学園短期大学 保育科 准教授）

### 第 2 分科会（九州・全国大会では第 3 分科会）

#### 〈テーマ〉子どもの育ちを保障する関係機関とのネットワーク



#### ～保幼小、虐待対応、療育、地域等における連携～

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等と小学校、さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

令和 5 年 2 月には、文部科学省初等中等教育分科会のもとで「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」が取りまとめられました。取りまとめにおいては、5 歳児から小学校 1 年生までの 2 年間を「架け橋期」として、保幼小の関係者はもとより、家庭、地域、関係団体、地方自治体など、子どもに関わるすべての関係者が立場を超えて連携・協働することが必要とされています。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする

保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

児童虐待予防、子どもの貧困に起因する課題への対応、病児・病後児保育、医療的ケア児の支援、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

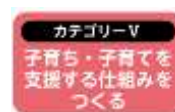
本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

- 担 当 部 : 保育士部
- 意見発表者 : 延岡地区
- 〃 : 西都児湯地区
- 助 言 者 : 木村 匡登 氏（宮崎学園短期大学 保育科 教授）

### 第 3 分科会 （九州・全国大会では第 5 分科会）

〈テーマ〉公立保育所・公立認定こども園等の特性を生かした使命と

地域社会での役割と発信



保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域間格差がすすむことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を生かした具体的実践のあり方などについて研究を深めます。

- 担 当 部 : 公立部
- 意見発表者 : 県西地区
- 助 言 者 : 山田 裕司 氏（みやざき保育幼児教育センター センター長）

### 【 特別分科会 】 充実した家庭支援と専門性を活かした保育の中の食育

食事・運動・睡眠の毎日の生活リズムの形成の中で培われる「食」は、食育計画を基に保育士・保育教諭・栄養士・管理栄養士・調理師・調理員等の全職員が共通認識を図りながら、それぞれの専門性を活かした食育の実践が必要であると思われます。また、離乳食やアレルギー、誤嚥・誤食や偏食等の個別の配慮には、家庭との連携、支援も欠かせないものです。本テーマは「保育の中の食育」を通して、主体的な活動がもたらす「食育」の実践について研究を深めます。

- 担 当 部 : 給食部
- 意見発表者 : 宮崎市地区
- 〃 : 都城市地区
- 助 言 者 : 牧野 多津子 氏（なかしま保育園 園長）

## 【 特別分科会（予算対策委員会・施設長部） 】

少子化が進行し保育人材の確保が一層重要となる中、国は保育士等の処遇改善施策を整理し、従来複雑で分かりにくかった加算制度を一本化する改革を進めている。この「処遇改善一本化」は、制度の透明性と公平性を高め、施設や自治体の事務負担を軽減しつつ、保育士の安定した賃金改善を図ることを目的としており、令和 8 年度には本格実施を迎える見込みである。

一本化された制度では、すべての保育従事者を対象とした基礎的な処遇改善、経験や職務内容に応じた賃金向上、専門性向上に資する研修などを評価する加算が、一つの体系のもとで整理される。これにより、園ごとの解釈差が縮まり、従来のような制度の複雑さによる不公平感の解消が期待される。また、申請や報告に伴う事務作業が簡素化され、職員が本来業務に集中できる環境づくりにもつながると考えられている。

政府は令和 8 年度直前の段階で、一本化の円滑な運用に向け、自治体への周知やガイドライン整備の強化を進めておりさらに、賃金改善分を確実に職員の給与へ反映させるための仕組みや、財源確保の継続、キャリア形成と専門性向上への支援を重視する姿勢を示している。処遇改善は単なる賃金引き上げにとどまらず、保育の質の維持向上と人材定着の基盤として捉えられています。

一方で、小規模園や地域差の大きい自治体においては、従来制度との違いによる影響や、新たな加算取得のための体制整備が負担となる可能性も指摘されており、制度の一本化がすべての現場で均等に効果を発揮するためには、現場の実情を踏まえた柔軟な支援が求められます。

本趣旨文では、令和 8 年度を目前に控えた処遇改善一本化の概要と政府の見解を整理し、保育現場が安心して制度を活用できる環境整備に向けた論点を提示いたします。

■ 担 当 部 ： 予算対策委員会・施設長部

■ 演 題 ： 「処遇改善一本化 及び その他情勢について」

■ 講 師 ： 吉岡 伸太郎 氏

（社会福祉法人 おひさま会 おひさま保育園 園長）

## 9. 参加者の範囲

（1） 宮崎県保育連盟連合会会員施設長が次の範囲から推薦した者

- ① 保育園（所）・認定こども園の設置者・施設長及び職員
- ② 小規模保育所・児童館の施設長及び職員
- ③ 保護者 等

（2） 県・市町村の保育行政関係職員

（3） 保育士養成校の職員及び学生 等

## 10. 顕 彰

顕彰は、顕彰規程に基づき、宮崎県保育連盟連合会理事長が式典において行います。

各施設長は、別添推薦書を令和 8 年 1 月 23 日（金）までに大会事務局に提出してください。（推薦者印が必要です。郵送でお願いします。FAX 不可）

なお、表彰決定通知書は被表彰者所属施設にお送りいたしますので、ご了承ください。

## 11. 参加申込み

- (1) 参加申込みにあたっては、宮崎県保育連盟連合会 HP の【第 72 回宮崎県保育事業研究大会参加申込フォーム】をクリックすると、名鉄観光サービスの申込サイトに移動しますので詳細はそちらをご確認ください。

※ 役員（発表者含む）・係員においても参加申込みが必要となります。

※ 会場収容数等の都合により、第 2 希望の分科会になる可能性があります。変更になる場合は、申込締切後に事務局よりご連絡いたします。

【参加申込専用サイト】

第 72 回宮崎県保育事業研究大会参加申込専用サイト

<http://www.mwt-mice.com/events/m-hoiku72th>

※ PC・スマートフォンよりアクセス可能です。



\* 申込締切 第一次 令和 8 年 1 月 30 日（金）

第二次 令和 8 年 2 月 13 日（金）

- (2) 申込完了後に自動送信される「申込完了メール」に記載の振込先へ令和 8 年 2 月 13 日（金）までにお振込みをお願いいたします。

\* 申込ご担当者は、参加者へ申込内容（分科会・弁当申込みの有無など）を必ずお知らせください。

マイページの「お申し込み内容」タブより申込内容確認書をダウンロード（PDF）・印刷していただき、当日控えとしてご持参ください。県保大会では、参加券等の発行はございません。

※ 領収書が必要な場合は、ログインページにございます「領収書発行依頼」をご記入の上、メールにてお送りください。当日お渡しします。

※ 振込手数料は、各自ご負担となりますので、ご了承ください。

- (3) 参加申込をされた方で、令和 8 年 2 月 13 日（金）以後に参加を取り消される方の参加費等については、徴収させていただきます。

なお、大会資料（冊子）を後日送付させていただきます。

- (4) 昼食希望の方は予め注文してください。なお、研修当日のキャンセル等変更はできませんのでご了承ください。（弁当：1,100 円（お茶付き））

弁当代について、何らかの事情で振込みができない方は当日お支払いください。

- (5) 申込変更について

参加申込専用サイトより、新規登録画面で登録したメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」してください。

お申込締切日までは、システムから変更・取消を操作できます。

締切日以降の変更・取り消しは、専用サイトのお問合せフォームからの送信、または

E-mail にて変更・取り消し内容をお知らせください。

お電話での変更・取り消しは、間違い防止のためお受け付けできかねます。

## 12. 個人情報の取り扱いについて

- 参加申込にあたりご入力いただいた個人情報は、本大会の運営・管理の目的に限って使用します。
- 本大会の申込受付等に関する業務を名鉄観光サービス株式会社に委託し、上記の目的のため情報を共有します。

## 13. その他

ポスター発表申込みの方は、募集要項に従って準備してください。

## 14. お問い合わせ先

### 【 研究大会の内容に関すること 】

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会事務局（担当：長嶺・太田・原田・松田）

〒880-0007 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター内

TEL : 0985-28-5835（受付時間：平日 8 : 30 ～ 17 : 15）

FAX : 0985-28-5989      E-mail : office@m-hoiku.or.jp

### 【 申込・パソコンの操作等に関すること 】

名鉄観光サービス株式会社 宮崎支店（担当：出口）

〒880-0001 宮崎市橘通西 2 丁目 4-20 アクア宮崎ビル 5 階

TEL : 0985-26-1414（受付時間：平日 9 : 30 ～ 12 : 00、13 : 00 ～ 17 : 00）

FAX : 0985-20-7355      E-mail : miyazaki-mice@mwt.co.jp